

# 日本放送協会 理事会議事録

(平成27年 9月 1日開催分)

平成27年 9月18日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成27年 9月 1日(火) 午前9時00分～9時45分

<出席者>

榑井会長、堂元副会長、塚田専務理事、吉国専務理事、板野専務理事、  
福井専務理事、森永理事、井上理事、浜田技師長、今井理事、  
坂本理事、安齋理事  
上田監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

榑井会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

## 1 審議事項

- (1) 平成27年度後半期の国内放送番組の編成について
- (2) 平成27年度後半期の国際放送番組の編成について

## 2 報告事項

- (1) 放送技術審議会委員の委嘱と任期途中の退任について
- (2) 考査報告

## 議事経過

### 1 審議事項

#### (1) 平成27年度後半期の国内放送番組の編成について (編成局)

平成27年度後半期の国内放送番組の編成について、審議をお願いします。

後半期においても、27年度番組改定で定めた各放送波の大きな方針を堅持し、定時番組のさらなる定着と認知度の向上を目指します。そのため、後半期に大きな改定は行いません。

後半期の変更点としては、2点あります。

ひとつは、毎年恒例のプロ野球のシーズンオフや欧米の夏時間の終了に伴う改定です。もうひとつは、「大河ドラマ」や「連続テレビ小説」の新シリーズなど、定期的に入れ替えている番組の変更です。後半期に開始する番組については、昨年度放送して好評を博したものをブラッシュアップするなどして、さらに魅力的な番組を編成します。

後半期の改定は、各放送波とも9月28日から実施しますが、BS1は、野球のシーズン終了や欧米の夏時間の終了に伴う改定のため、11月2日から実施します。

各波の主なポイントを説明します。

まず、総合テレビです。後半期のドラマについては、9月28日から93作目の「連続テレビ小説」、大阪放送局制作の「あさが来た」の放送が始まります。幕末に生まれ、銀行や生命保険会社を設立し、のちには日本最初の女子大学設立に尽力した女性企業家・広岡浅子をモデルにしたヒロイン・あさの物語です。

55作目となる「大河ドラマ」は、28年1月から「真田丸」を放送します。戦国時代最後にして最強の砦「真田丸」を作り上げた真田幸村（信繁）が主人公です。信濃の一領主に過ぎない真田家に生まれた信繁が、父・昌幸や兄・信幸の背を追いかけながら成長していくさまを、“戦国中流家族”真田家の愛とサバイバルの物語として、ダイナミックに、時にユーモアたっぷりに描くもので、主演は堺雅人さんです。大河ドラマと連続テレビ小説については、各回のストーリーを5分にまとめたミ

ニ番組も放送します。

また、ドラマの新シリーズとして、火曜日午後10時台の「ドラマ10」は、不幸な生い立ちの女性看護師が成長していく姿を描いた「わたしをみつけて」、木曜日午後8時台の「木曜時代劇」は、昨年放送分の続編で宮部みゆきさん原作の時代劇ミステリー「ぼんくら2」、土曜日午後10時台の「土曜ドラマ」は老後への不安を抱える現在社会にさまざまな課題を投げかける本格医療サスペンス「破裂」を、それぞれ放送します。

日曜日午後11時台の「海外連続ドラマ」は、10月18日からは「アガサ・クリスティー トミーとタペンスー2人で探偵をー」全6回を、28年1月からは好評のダウントン・アビーの第4シリーズ「ダウントン・アビー4 ～華麗なる英国貴族の館～」全10回を放送します。そのほか、木曜日の夜間は、午後10時台に、病名推理エンターテインメント番組「総合診療医 ドクターG」を、土曜日の夕方、午後5時台は、特撮人形劇の新シリーズ「サンダーバード ARE GO」を放送します。

再放送についても見直します。夜間の再放送については、水曜日の深夜に11月から「サンダーバード ARE GO」を、木曜日の深夜に「マサカメTV」、金曜日の深夜に「LIFE!～人生に捧げるコント～」のセレクションを放送します。また、平日の午後2時台・4時台については、2時台は、火曜日に「木曜時代劇」の再放送、水曜日に「地球イチバン セレクション」、木曜日に「総合診療医 ドクターG」の再放送、4時台は、火曜日に「アニメ 英国一家、日本を食べる アンコール」、水曜日に「歴史秘話ヒストリア」、木曜日に「ダーウィンが来た!～生きもの新伝説～」を再放送します。

次に、Eテレです。水曜日午後7時台の「海外ドラマ」は、「超能力ファミリー サンダーマン シーズン2」を全24回で放送します。

学校放送番組の新シリーズとして午前9時台に、火曜日は、理科教育番組「カガクノミカタ」、水曜日は、楽しみながら音楽を学べる「おんがくブラボー」、木曜日は、世界の子どもたちを主人公にしたドキュメンタリー「カラフル!」、金曜日は、「新・ざわざわ森のがんこちゃん」などを放送します。

週末のアニメ番組では、土曜日午後6時台に、新シリーズ「アニメ ザ・

ペンギンズ～from マダガスカル～」を放送します。また、日曜日午後5時台には、人気の「アニメ メジャー6」を再放送します。

音楽教養番組の新シリーズは、「ミュージック・ポートレート」を木曜日午後11時台に放送します。

語学番組の新シリーズは、月曜日から木曜日の午後10時台に、社会人がビジネスで使える英語表現を学ぶ「しごとの基礎英語」のシーズン3を放送します。

BS1では、午後11時台の「ワールドスポーツ」については、MLB（アメリカ大リーグ）のシーズン終了に伴い、月曜日と火曜日は放送時間を早めて午後9時からサッカーを中心に、日曜日は午後11時からNBA（アメリカプロバスケットボールリーグ）などを中心に放送します。「BS世界のドキュメンタリー」、「アスリートの魂」は、平日の午後11時開始に放送時間を繰り上げて、より見やすくします。

また、土曜日午後5時台に、新番組「奇跡のレッスン 最強コーチが導く 飛躍の言葉」を放送します。さまざまな分野の一流コーチが来日して子どもたちに1週間の特別レッスンをする番組です。

なお、欧米の夏時間の終了に伴い、日曜日午前の編成を一部変更します。午前7時台に放送している「ワールドニュース」を午前8時台の放送とし、「PGAゴルフ」は、午前6・7時台に放送します。午前5時台には「ラン×スマ～街の風になれ～」、「チャリダー★～快汗！サイクルクリニック」を再放送します。

BSプレミアムは、水曜日午後9時台に、好評を得ている「ザ・プロファイラー ～夢と野望の人生～」の第4シリーズを放送します。司会は岡田准一さんです。水曜日午後11時台には、「ワンス・アポン・ア・タイム3」を放送します。また、木曜日の午後9時台は、知的エンターテインメントをはじめ、個性的でインパクトのある多彩な番組を放送する「木曜インパクト」という枠を新設します。

ラジオ第1は、プロ野球のシーズンオフに伴う改定として、月～金曜日を通して「先読み！夕方ニュース」、「列島リレーニュース」などを放送します。また、午後8時台は、木曜日は「かれんスタイル」を、金曜日は「ぼくらの青春 J-POP 平成ミュージック・グラフィティ」を放送します。

ラジオ第2は、語学講座として、土曜日午後6時台に「ポルトガル語

ステップアップ」を、24回にわたり、25年度分を再放送します。

FM放送については、変更はありません。

最後に、補完放送等の放送計画です。データ放送については、総合テレビの「大河ドラマ」、「連続テレビ小説」のほか、Eテレの「しごとの基礎英語」などで実施します。ハイブリッドキャストについては、昨年に引き続き、Eテレの「しごとの基礎英語」で実施します。

以上の報告内容が決定されれば、9月29日開催の第1245回経営委員会に報告します。

(会 長) 原案どおり決定します。

(2) 平成27年度後半期の国際放送番組の編成について

(国際放送局)

平成27年度後半期の国際放送番組の編成について、審議をお願いします。

外国人向けテレビ国際放送（NHKワールドTV）については、地域の文化や産業などを紹介する地域放送局制作番組を積極的に海外発信し、世界の関心に応え、地域の活性化や外国人観光客の誘致につなげていきます。

具体的には、地域の文化や産業、人や暮らしなど、地域放送局で制作された多彩で心に響く番組を英語化して放送する「Home town Stories」を新設し、月1回、日曜日の午前9時台に放送します。

ラジオ国際放送（ラジオ日本）の邦人向け日本語放送については、プロ野球ナイトゲームの終了に伴い、午後6時台から9時台の編成を変更します。

以上の報告内容が決定されれば、9月29日開催の第1245回経営委員会に報告します。

(会 長) 原案どおり決定します。

## 2 報告事項

(1) 放送技術審議会委員の委嘱と任期途中の退任について

(浜田技師長)

放送技術審議会委員の委嘱と任期途中の退任について報告します。

平成27年8月1日付で、富永昌彦氏（総務省 大臣官房総括審議官）に、平成27年9月1日付で、戸谷一夫氏（文部科学省 文部科学審議官）に、新規委嘱しました。

また、本人の申し出により、武井俊幸氏（前 総務省 大臣官房総括審議官）は任期途中の平成27年7月31日付で、土屋定之氏（前 文部科学省 文部科学審議官）は任期途中の平成27年8月3日付で、それぞれ退任されました。

## （2） 考査報告

### （考査室）

平成27年7月18日から8月26日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース17項目、番組78本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、安倍首相が戦後70年にあたり、「お詫び」「侵略」など4つのキーワードを盛り込んだ談話を発表し、歴代内閣の立場を継承する姿勢を示したこと、東京電力福島第一原発事故後に作られた新規制基準下で初めて、九州電力の川内原発1号機が再稼働し、国内で1年11か月続いた“原発ゼロ”状態が終わったことなどがありました。

番組では、広島の実爆投下直後に爆心地から2.3kmの御幸橋で撮られた2枚の写真を最新の映像技術で立体化し、現場で起きていた真実に迫った、NHKスペシャル「きのこ雲の下で何が起きていたのか」（8月6日放送）、太平洋戦争末期に沖縄本島でアメリカ軍と戦った少年部隊「護郷隊」の実像に迫った、NHKスペシャル アニメドキュメント「あの日、僕らは戦場で～少年兵の告白」（8月11日放送）などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」のニュース3項目と番組1本の考査を実施しました。考査したのは、戦後70年の安倍首相談話の記者会見を同時通訳で丁寧に紹介した「NEWSLINE」（日本時間8月14日放送分）や、東京オリンピック・パラリンピックに向けて目まぐるしく変化する東京の魅力を伝える情報

番組「TOKYO EYE 2020 Entertainment 2015」（日本時間8月12日放送）などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成27年 9月15日

会 長 靱 井 勝 人